

3-7 事務部門管理者会議

本会議は、事務部門の最高責任者の方々を対象とした理事長・学長会議の事務局版とも言える会議で、事務当局が教育改革を進める上での情報化戦略に関する知識、考え方について理解を深めることを目的としており、18年度で10回目となる。

18年度は、教員の教育力の向上に大学がかかわることの重要性を理解し、実現対策として教育の業績評価制度を事務レベルで考えていく必要があること、教員を支援する教育支援組織と学生を支援する学習支援組織の体制作りの必要性と具体的な取り組みを紹介する。また、「ファカルティ・ディベロップメントIT活用」による大学の教育戦略の方向性、補助金活用の点検などについて理解を促すことを計画し、以下の通りの開催要項を決定した。

平成18年度事務部門管理者会議開催要項

日 時：平成18年11月29日（水）13：00～17：30
場 所：アルカディア市ヶ谷（東京、私学会館）

I. 開催趣旨

学生の学力・意欲の低下、卒業生の人間力減少など、大学教育での人材育成への取り組みが取り沙汰されている。人材育成の現状を打開するためには、教職員が一体となって学生一人々の能力を高める教育実践、進路等目標管理の助言・指導、教育改善のための教員の教育力の向上、教育支援を企画・実行する職員のマネジメント能力の開発が不可欠である。避けて通れない課題にいかに対応すべきか、教育戦略について情報技術の活用も含め探求する。

II. プログラム

13：00 開会挨拶 戸高敏之氏（私立大学情報教育協会会長）

13：05 紹介 「教員総合評価制度の導入と効果」

大学が掲げる人材育成を実現するため、教員の意識改革を目指したファカルティ・ディベロップメントの積極化とそれを効果的に進めるための教員評価による教育活動に対する表彰を通じて教育改善を実現している取り組みについて紹介する。

説 明：坪井和男氏（中部大学学長補佐）

13：55 紹介 「教育支援、学習支援による教育改革の取り組み」
学生の基礎学力を補完する特別授業とビデオライブラリー化、

学習に伴う不安解消のWeb等個別相談、公開授業見学会によるファカルティ・デベロップメント研究、FD合宿の開催、ITを活用した教材作りや参加型協同学習法のワークショップ、優れた授業事例の奨励など、大学が組織的に取り組んでいる教育改革について紹介する。

説 明：高木 功氏（創価大学教授、教育・学習活動支援センター運営委員）

14:45 休 憩

15:00 解 説 「ファカルティ・デベロップメントとIT活用」

人材育成を実現するためには教員の意識改革が基本である。職務として教育改善に取り組めるよう教育業績評価制度など大学ガバナンスの発揮が要請される。期待される教員の教育力を整理し、ファカルティ・デベロップメントの実現に欠かせないITの活用と課題、教育改革に求められる戦略について説明する。

説 明：井端正臣氏（私立大学情報教育協会事務局長）

15:50 「情報環境整備の課題と情報関係補助金の活用と点検」

20年度を目指した情報環境の方向性と課題について調査結果を基に解説する。また、ファカルティ・デベロップメントを促進する手段としての補助金の活用と点検についても情報提供する。

説 明：本協会事務局

16:30 コミュニケーション（立食形式による情報交換会）

17:30 閉 会

Ⅲ. 参加対象

法人・大学の事務局長、部長、課長の管理職員